

特別養子適格の確認の申立てについて

家庭裁判所

はじめに

特別養子縁組は、父母による監護が著しく困難であるなどの場合において、養子となる未成年者（原則として15歳未満の子）の福祉のために特に必要があると認められるときに、家庭裁判所の審判によって成立させるものです。この特別養子縁組において、養子となる者は、特別養子適格の確認の審判を受けた者でなければなりません。養親となる者が本申立てをする場合、特別養子縁組成立の申立てと同時にする必要があります。

申立てに当たって必要なもの

申立書・・・必要事項を記入したもの

郵便切手・・・ 円切手 枚, 円切手 枚, 円切手 枚

添付書類・・・(同じ書類は1通で足りえます。)

○養子となる者の戸籍謄本（全部事項証明書）

○養子となる者の実父母の戸籍謄本（全部事項証明書）

※収入印紙は不要です。

※審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。

申立書の記入について

この説明書及び裏面の記入例を参考にしてください。

申立人について

申立人は、養親となる者です。

申立書等の提出先について

提出先は、養親となる者の住所地を管轄する家庭裁判所です（分からないときは、最寄りの家庭裁判所にお尋ねください。）。

記入例 養親となる者が本申立をする場合

申立書を提出する裁判所（養親となる者の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印 子納郵便切手 円	特別養子適格の確認申立書	
	準口頭	号
関連事件番号 令和 年(家)第 号		

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和 〇年 〇月 〇日	申立人ら (養親となる者) の記名押印	甲山 乙郎 甲山 丙子	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
--	---------------------------	----------------	--

添 付 資 料	
(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	
<input checked="" type="checkbox"/>	養子となる者の戸籍謄本 (全部事項証明書)
<input checked="" type="checkbox"/>	養子となる者の実父母の戸籍謄本 (全部事項証明書)
<input type="checkbox"/>	

当 事 者 及 び 関 係 者
別紙「当事者及び関係者目録」記載のとおり

申 立 て の 趣 旨
申立人らと養子となる者との間における縁組について、特別養子適格の確認の審判を求める。

申 立 て の 理 由
(申立 てる の 動 機 ・ 事 情 等)
別紙「申立ての理由」記載のとおり

縁 組 同 意 の 有 無 等		
養子となる者の父 (実父)	1 有 <input checked="" type="radio"/> 2 無	(同意を得られない/不要とする事情) 養子の出生当時、両親は既に離婚しており、実父は行方不明のため、縁組同意の意思を表示することができない。
養子となる者の母 (実母)	1 有 <input checked="" type="radio"/> 2 無	(同意を得られない/不要とする事情)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください（携帯電話でも構いません。）。
裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(別紙)

当事者及び関係者目録		
申立人ら	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 方)
	フリガナ氏名 (養父となる者)	コヤマ ヒロシ 甲山 乙郎 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
	フリガナ氏名 (養母となる者)	コヤマ メコ 甲山 丙子 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
養子となる者	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 方)
	フリガナ氏名	オノ ハルコ 乙野 春子 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 令和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
養子となる者の父 (実父)	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 方)
	フリガナ氏名	オノ タロウ 乙野 太郎 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
養子となる者の母 (実母)	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (〇〇 方)
	フリガナ氏名	オノ ハナ子 乙野 花子 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
※1	住所	〒 - 電話 () (〇〇 方)
	フリガナ氏名	昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
※1	住所	〒 - 電話 () (〇〇 方)
	フリガナ氏名	昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳) 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
※2 縁組のあつせんを受けた機関等	住所 (所在地)	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
	フリガナ氏名 (名称)	〇〇 児童相談所

※1 養子となる者に実父母のほか養父母がある場合には、それぞれについて、養子となる者に未成年後見人、父母以外で親権を行う者（父母が未成年であるときのその父母又は未成年後見人、審判前の保全処分によって選任された親権者又は未成年後見人の職務代行者、児童福祉法第47条第1項又は第2項の児童福祉施設の長等）又は監護者がある場合には、これらの者について、かっこ内に養子となる者との関係を特定した上、所要事項を記入してください。

※2 児童相談所又は養子縁組をあっせんする事業を行う者からあっせんを受けた場合に記入してください。
なお、審判の結果は、当該機関等にも通知されます。

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

(別紙)

※3	申立ての理由
	1, 春子の出生当時, その両親は既に離婚しており, 実母は生活力が乏しく, 実父も行方不明となり, 春子は乳児院に入所しました。
	2, 申立人兩名は, 平成〇年〇月〇日, 児童相談所に里親登録し, 令和〇年〇月〇日から, 春子を里子としています。

※3 申立ての理由には、申立ての動機、経緯のほかに、ア 養子となる者の出生の経緯、生活歴及び心身の状況（出生時の状況、申立人らと同居するまでの家庭環境、監護状況等、申立人らと同居するまでの病歴、健康状態、心身の発達状況等）、イ 未成年後見人、父母以外で親権を行う者の意向等を記入してください。
なお、この申立書は、利害関係人が閲覧や謄写をする可能性がありますので、その点にご留意のうえ、簡潔に記載してください。

申立て後の手続について

申立てを受けた家庭裁判所は、申立てについて審理するために申立人、その他の関係者に事情をお尋ねする場合があります。裁判所からの照会や呼出しには必ず応じてください。

申立てについて、分からないことがありましたら、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先